

① 渡邊喜一郎 著

『ディズニーここをつかむ9つの秘密：
97%のリピーター率をうみ出すマーケティング』

(ダイヤモンド社)

本書は、東京ディズニーランドの開業から10年間マーケティング・事業開発の担当者として携わり、開業2年目で入場者1,000万人を突破する記録を生み出したオリエンタルランド社の元社員が書いた本です。

97パーセントのリピーター率を持つ「夢の国」には、やはり「しくみ」があったのです。

このノウハウを理解すればお客さんがまた、来てくれるのです。経営者志望の人は読まないわけにはいきません。(N.K.)

689.3 ||Wat

③ 日経BPビジョナリー経営研究所 編

『クロネコの恩返し』

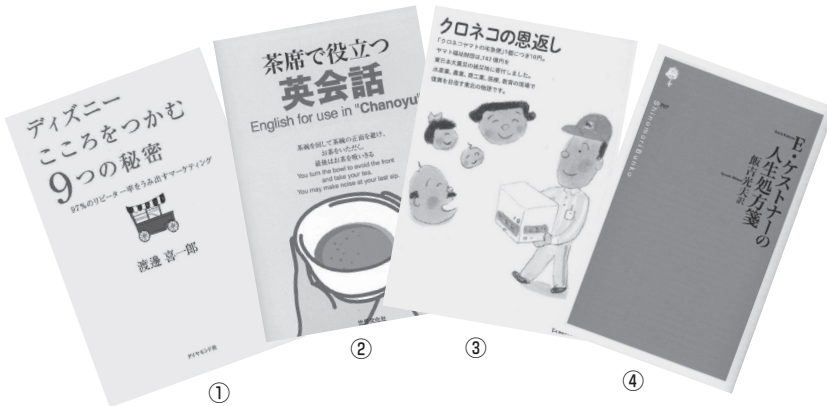
(日経BP社)

2011年3月11日、東日本大震災が起きました。刻々と被害の深刻さが明らかになっていく中で、ヤマトグループは、2011年度の1年間売り上げの一部を被災地に寄付することにしました。それは、宅急便1個につき10円を寄付するというものでした。

集まったお金は、被害が大きかった岩手、宮城、福島県の3県の水産業と農業、商工業、教育機関、医療機関の再生の為に寄付されました。

本書では、その寄付金が具体的にどのように生かされたかについて詳しく書かれています。企業は、社会が窮地に陥った時に何ができるか、何をしなければならぬかについて考えさせられる1冊です。(S.S.)

369.31 ||Kuro



②

『茶席で役立つ英会話
= English for use in "Chanoyu"』

(世界文化社)

外国の方と接していると、日本の文化について知らない分野が多いと痛感する事があります。茶道もその一つではないでしょうか。ただでさえ作法もおぼつかないのに、それを英語で説明するのは至難の業です。

本書では多数のイラストや写真を用いて、英文との対訳形式で初心者にも分かりやすく解説しています。「ここがポイント」や「茶の湯の心」のコーナーでは、更に理解を深める事が出来ます。「しびれがきかない工夫」は、心憎い配慮です。(T.F.)

791.7 ||Chas

④ エーリヒ・ケストナー 著、飯吉光夫 訳

『E・ケストナーの人生処方箋』

(思潮社)

著者のケストナーは、『エミールと探偵たち』、『飛ぶ教室』、『二人のロツテ』などの児童文学で知られているドイツの作家ですが、詩集も数多く発表しています。本書に収められた、深みのある、ユーモアに富んだ詩は、何かしら感動を与えてくれることでしょう。

病気になった時、薬を服用すると症状が軽くなるように、嬉しい時、悲しい時、この本の目次を見て心の状態に合った詩を読み味わえば、慰めを得ることができると思います。“苦しみの共有は半分の苦しみ、喜びの共有は二倍の喜び”となることでしょう。(F.O.)

941 ||Kas